

平成29年度 事業計画

社会福祉法人 宝成会

基本方針

平成30年度には、新たな介護保険制度の見直しが実施され、地域包括ケアシステムや介護予防・日常生活支援総合事業の具体的なサービスの開始等地域に根ざした福祉活動が今後重要になってきます。

また介護保険の環境も厳しくなり在宅系の訪問介護、デイサービス等の事業の統廃合が起きていますし特養への介護加算の見直し等も今後予想され、ますます厳しい状況になる為施設運営においては、稼働率をより意識して将来を見据え安定した運営の基盤作りが重要課題と考えます。

介護職員につきましては、離職者が減りましたが、新たな人材発掘に関しては、当施設も含めどこの施設も苦勞しているようですので将来を見据えた人材の確保を行っていききたいと思えます。

現場では、全体的な介助時間の見直しや食事時間、風呂時間帯の調整を行い業務の抜本的な効率の良い施設運営を目指していきます。人材に関しては、人材紹介会社や広告媒体等の活用はもとより、地元地域の人材確保のため自治会連合会へ協力をいただき地域とともに施設運営ができるよう推進していききたいです。

今年度も各事業において引続きスローガンを掲げ、職員が一丸となり業務に邁進する姿勢を高めサービス向上に努めると共に、中期3カ年計画の新たな取り組みと課題に向け事業推進を推し進めて行きたいと思えます。

職員が前向きに仕事ができる環境をより強く提供できるよう努めるとともに、総合的な自立支援ケアができる施設に躍進していききたいと思えます。

処遇改善では、職員のキャリア形成を明確にし今後も魅力ある職場作りに改善注力していき、職員の介護技術、介護知識の向上を目指しより質の高い職員の育成を目指していきます。

そのため職員がやめない職場づくりのさらなる強化としての人材教育等も積極的に推進していききたいと思えます。

地域社会貢献をより強固にし、配食サービスの更なる協力や西谷地域に於いては、地域包括ケアを念頭に置き、地域包括支援センターを中心として、高齢者が住み慣れた地域で本人や家族が安心して生活を続ける為に地域福祉の拠点施設として今後共、更なる向上を目指していききたいと考えています。

課題

1. 社会福祉法人としての社会貢献
 - ・地域高齢化福祉への取組として西谷地域包括支援センターを基盤に活動を拡大
 - ・配食サービスの運営
2. 利用者様の主体性・選択性の充実
 - ・ケアカンファレンスの充実
 - ・総合的な自立ケアの取組
3. 施設稼働率の安定と経費等支出の削減で効率の良い施設運営
 - ・加算の取得の取組強化
 - ・支出見直しによる経費削減
 - ・全職員が意識した節約の取組実施
4. 職員のスキルアップへの取組
 - ・計画的な研修体制の確立（医療・接遇・認知症・各種専門分野等）
 - ・キャリアパスの確立による人事考課の強化と職員レベルの技術・知識の向上
 - ・職員がやめない職場づくりの推進強化